

水戸芸術館開館30周年事業  
水戸室内管弦楽団・別府アルゲリッチ音楽祭共同制作  
「水戸室内管弦楽団 第103回定期演奏会」開催のお知らせ

水戸芸術館では、開館30周年記念事業として専属楽団・水戸室内管弦楽団(MCO)第103回定期演奏会を、別府アルゲリッチ音楽祭との共同制作で開催いたします。

「第1部」では、指揮者を置かないメンバーのみによるアンサンブルの演奏をお贈りします。「第2部」では、人気、実力ともに世界トップのピアニストとして活躍を続けるマルタ・アルゲリッチとの共演が再び実現いたします。

つきましては、本公演をご紹介しますようお願い申し上げます。

水戸芸術館開館30周年事業  
水戸室内管弦楽団・  
別府アルゲリッチ音楽祭共同制作

## 水戸室内管弦楽団 第103回定期演奏会

2019年5月26日(日) 19:00 開演  
5月28日(火) 19:00 開演

【会場】水戸芸術館  
コンサートホール ATM

【料金】全席指定／S席 20,000円、A席 18,000円、B席 15,000円

【曲目】<第1部> 指揮者なし

ハイドン：交響曲 第6番 二長調 Hob.I-6 <朝>

ウェーベルン：弦楽のための5つの楽章 作品5

<第2部> 指揮：小澤征爾、ピアノ：マルタ・アルゲリッチ

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19

\*小澤征爾総監督は体力回復期にあるため、ベートーヴェンの一部しか指揮しない場合、あるいはまったく指揮しない場合がございます。その場合は、指揮者なしで演奏いたします。チケットの払い戻しは行いません。

【チケット発売】 一般発売 4月21日(日)

【チケット取り扱い】 水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

・チケット予約センター Tel.029-231-8000

・エントラスホール内チケットカウンター ほか

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団



小澤征爾  
©Michiharu Okubo



マルタ・アルゲリッチ  
©Rikimaru Hotta

\*お問い合わせ\* 企画について：水戸芸術館音楽部門 (担当：高巢) Tel.029-227-8118  
ご掲載について：水戸芸術館広報係 (担当：鴨志田) Tel.029-227-8111  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

## プロフィール

### 小澤征爾 Seiji Ozawa (指揮)

1935年、中国のシャンヤン（旧・奉天）生まれ。桐朋学園で斎藤秀雄に指揮を学んだ。59年にブザンソン国際青年指揮者コンクールで優勝。カラヤンに師事後、バーンスタインのもとニューヨーク・フィルの副指揮者を務める。ボストン響やウィーン国立歌劇場の音楽監督を歴任。1992年から「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」（現・セイジ・オザワ松本フェスティバル）で総監督を務めるほか、小澤征爾音楽塾等を通じて後進の指導にも情熱を注いでいる。2011年、第23回高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。15年、ケネディ・センター名誉賞を日本人として初受賞。16年、サイトウ・キネン・オーケストラ演奏の「ラヴェル：歌劇〈子どもと魔法〉」でグラミー賞受賞。10年にはウィーン・フィルから、15年にはベルリン・フィルから「名誉団員」の称号を授与された。水戸芸術館では13年、初代館長・吉田秀和の後を継いで館長に就任。同時に水戸室内管弦楽団の総監督となり、運営にあたっている。

### マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich (ピアノ)

アルゼンチンのブエノスアイレス生まれ。8歳でモーツァルトとベートーヴェンのピアノ協奏曲を弾いてデビューした。1955年に渡欧し、グルダ、ミケランジェリなどに師事。57年にブゾーニとジュネーヴの国際ピアノ・コンクール、65年にシヨパン国際コンクールで優勝して以来、人気、実力ともに世界のトップ・ピアニストとして活躍を続けている。96年、フランス政府から芸術文化勲章オフィシエを贈られた。また同年から「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督を務めている。99年からブエノスアイレスでマルタ・アルゲリッチ国際ピアノ・コンクールを創設。2005年、旭日小綬章を受章。同年、世界文化賞を受賞。16年、旭日中綬章受章。同年ケネディ・センター名誉賞受賞。CDは、ドイツ・グラモフォンなど各レーベルからリリースされており、グラミー賞、グラモフォン誌のアーティスト・オブ・ザ・イヤー賞、ドイツ・レコード批評家賞をはじめ、多くの賞を受賞している。

### 水戸室内管弦楽団 Mito Chamber Orchestra

水戸室内管弦楽団（以下MCO）は水戸芸術館の専属楽団として、1990年の開館と同時に、初代館長・吉田秀和の提唱により誕生した。日本を代表する音楽家である小澤征爾が、総監督、指揮者としてその運営にあたり、メンバーは、ソリストとして、またオーケストラの首席奏者として、世界的な活躍を続ける18名の日本人音楽家および5名の外国人音楽家たち。MCOは、水戸芸術館コンサートホールATMで定期演奏会を行っている。音楽家たちは、演奏会の度に、世界各地から水戸芸術館に集まり、集中的にリハーサルを行う。MCOの特性は、いわば「2つの顔」を自由に使い分けられることにある。1つは「指揮者を置かないアンサンブル」としての顔。もうひとつは「指揮者に率いられたアンサンブル」である。今回の定期演奏会では、そのどちらの顔も楽しめる。

#### <東京公演のお知らせ>

別府アルゲリッチ音楽祭・水戸室内管弦楽団共同制作

ピノキオ支援コンサート アルゲリッチ、ベートーヴェンを弾く

2019年5月24日[金] 19:00 開演

【会場】東京オペラシティ コンサートホール

お問い合わせ：公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 Tel.0977-27-2299

協賛：日本生命保険相互会社

チケット発売：4月14日（日）

※内容は第103回定期演奏会と同じ